

結局、今年も酷暑の夏になりました。涼しい秋風が待ち遠しい毎日です。
シグリーフケア Side by Side 「さばさ」 ㄱ のメールマガジン第 32 号をお届けします。

目次-----

- 1) スタッフのつぶやき
- 2) グリーフ体験談
- 3) イベントのご案内
- 4) メルマガについて
- 5) 風と虹の診療所設立準備委員会について

1) スタッフのつぶやき

SARS-CoV-2 の蔓延。全世界浸淫地帯という逃げ場のない中、各国の対応がバラバラで大丈夫か？ と思
い悩む今日この頃。経済と科学では、経済という欲が政権に大きな影響を与えています。科学的にウイル
スを早く押さえ込んだ方が経済への影響が少ないと証明されるといいのに……。

2) グリーフ体験談

「ホスピス見聞記～支えてくれた友人たちへ」(2)

2002 年 3 月 27 日 加代 さんへ

加代様

本当に身勝手な私をいつもいつも許していただき、かばっていただき、感謝しています。事務所で仕事を
続けられたのは、加代ちゃんのお陰です。優しい人たちに囲まれて好き勝手に仕事だけしてこれたこと、
幸せだったなあと、今更ながら感じます。

昨日、この R 病院で現状把握のための検査をし、今後の方針を決めました。とりあえず、片肺はほとん
ど機能しておらず、修復も不能なので、残りの片肺に頼って生きることになります。積極的な治療はしま
せん。対症療法のみ。私のがんの場合は、どこか他の臓器に転移するよりも、肺炎などを引き起こして亡
くなる人が多いそうです。時期は、誰にも正確には予想しがたい。11月に、とても楽しみな歌舞伎公

演が扇町公園であるのですが、それまでいけると思うけどなあって、先生は仰っていました。しかし、神のみぞ知る。とりあえず、私は、1か月単位で予定を組むつもり。

今回の入院は、4月の中旬までにする予定。退院して、四国ドライブ旅行に行くの。なにしろ、食事がなかなかとれないので、栄養状態を戻すことが、今回の入院の目的。

このホスピスは、ホテルのような感じです。病院にしては、自由が多い。

みんなが、来てくれるの、とても楽しみにしています。原坊、中井さん、野内さん、ぴよぴよ達や藤岡さん、北風さん、千葉さんにも、全部話してもらえませんか。自分から言って回るのもおかしくて言ってきましたでしたが、みんなにも本当に感謝しています。できれば、お伝え下さい。

それでは、お会いできる日を楽しみに。

きみこ

追伸・・・

加代様

4月2日でokです。お3人様とお坊ちゃまにお会いできるのを楽しみにしております。

ケーキですが、やわらかな喉越しの良いものなら、なんの贅沢も申しません。ストロベリーショートでもいいです。コーヒーをご用意してお待ちしています。

お医者さん付ホテルにて

きみこ

2002年 3月27日 松井さんへ

昨日、R病院にやってきました。阪急の駅から山側にタクシーワンメーターのところ。昨日、今日の2日間、ひいちゃんが休みをとってくれたので、のんびり過ごしています。ホスピスは、全く一般病棟とは違って待遇がよいところです。ホテルみたいですよ。他の病気だって死んで行くのに、がんとエイズ患者しか受け入れないのは、隠れた不平等ですね。

ところで、松井さん、彼のお父様はいかがですか。いまも、お休みに通っているの。私は、彼の両親にいつ病気の話をしようか、悩みの種です。全く、この点では、親不孝の最たる奴で、反省しています。なんとか、気を落とさせるのを最小限にくだめなければ・・・、

松井さん、藤田さんと遊びに来てね。彼の両親と会ってもらってもいいな。宝塚歌劇の話もできるしね。今回の入院は多分4月の中旬ぐらいまでの予定。痛みは、もうコントロールしてくれているので、あとは栄養状態が回復すれば、一旦退院。私の場合は、多分、肺炎とかになって亡くなることが多いんだって。それがいつになるかは誰もわからない。でも、肺は、ほとんどひとつがつぶれていて回復不能なので、当分は片肺で暮らす状態。息がゼイゼイとあがっちゃうので、なんでもスローに、スローに。とりあえず、1ヶ月先の予定をいれることがせいぜいなんだけど、でも、4月末の四国ドライブツアーを目指して生きていきます。頑張るのは性に合わないの、らくーにやっけていくつもり。

最後に、一番大事なこと。松井さんのお陰でK先生の担当としてなんとか仕事を続けてこれました。本当に、本当にありがとうございました。

3) イベントのご案内（予告なく変更することがあります）

■講演会&ワークショップ

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/news-event/>

（新型コロナウイルスの影響に定員を減らしています。また、zoomへ切り替えさせていただくことがあります。また、当日の接触を減らすため、メルマガ割引は行いません。peatixか振り込みによる事前決済にご協力ください。最新情報はHPでご確認ください）

・2020年10月10日（土） 感じる・話す・聴く ～こころの基本的なあり方を学ぶ～

演者：池見陽（あきら）教授 臨床心理士 医学博士 関西大学 大学院心理学研究科教授

日時：2020年10月10日（土）14:00～16:30 定員 20名

■場所：zoom パソコンでもスマホ・タブレットでも参加いただけます。

（peatixに登録されたメールアドレスに事前に詳細をご連絡いたします）

■参加費： 3,500円（peatix事前決済のみ）

■お申込みはコチラ： <https://20201010sbs.peatix.com>

・2021年5月8日（土） 「親の死を経験した時の心身のプロセス～心の専門家が自分を振り返る～」

【さばさ】

演者：江夏亮さん

臨床心理士、公認心理師、日本ゲシュタルト療法学会スーパーバイザー、江夏心の健康相談室主宰
(<https://enatsu-kokoro.com/>)

日時：2021年5月8日（土）14:00～16:30 定員 20名

場所：新大阪丸ビル別館 <https://marubiru-bekkan.com/>

参加費：事前決済 3,500円（当日会場にて決済 4,000円）※小学生以下は会場の規定により入場できません。

・2021年5月9日（日） 江夏亮さんによる個人面談

日時：2021年5月9日（日） 10:00～12:00 13:00～16:00

対象：グリーフケアが必要だと感じていらっしゃる方はもちろん、なんとなく心がもやもやする方、江夏さんの個人ワークを体験してみたい方、江夏さんから学びたい方もお申し込みいただけます。が、講演会参加者が優先となりますことをご了承ください。複数人での面談はご相談ください。

費用：8日の講演会参加者は ¥6,000/50分 その他 ¥10,000/50分 ※当日お支払いください。

場所：新大阪丸ビル別館 <https://marubiru-bekkan.com/>

お申し込み：5月8日（土）19:00 までに、HP のお問い合わせ
<https://www.kazetoniji-clinic.jp/contact/> から、1) 講演会参加の有無 2) 希望時間 3) 連絡のつく
お電話番号 4) ご面談内容 を記載の上、ご連絡ください。締め切り後、お電話で調整させていただきます。

4) メルマガについて

■発行 不定期発行です。

■転送など

当メルマガは、グリーンケアがお役に立ちそうな方、そして、グリーンケアに興味がある方へ、
転送していただければ嬉しいです。抜粋・転載はご遠慮くださいませ。

■登録・解除

当メルマガは下記よりご登録することができます。

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/mailmag/acc.cgi?id=1564754504144857>

ご登録していただくと、御礼のメールが配信されます。PDF ファイル付きです。

迷惑メールに入ってしまうことがありますので、ご確認ください。

登録時に提供していただいた氏名・住所などの情報は、風と虹の診療所の設立に関し、主に統計をとるために利用させていただきます。

また、下記より解除することもできます。

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/mailmag/acc.cgi?id=1564754504144857&m=d>

■バックナンバー

風と虹の診療所設立準備委員会の HP の「メールマガジン」からご覧いただけます。

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/mail/>

■大切な人を病気で亡くされた方の体験談を募集しています。

ご協力いただける場合は「風と虹の診療所設立準備委員会」の HP にある

「お問い合わせ」からご連絡ください。

(当方で加筆・修正させていただくことがあることを御了承ください)

5) 風と虹の診療所設立準備委員会について

グリーンケア Side by Side 愛称「さばさ」と生きるための死への準備教育（death education）生老病死
愛称「わんまいる」は
風と虹の診療所設立準備委員会がプロデュースしています。

風と虹の診療所設立準備委員会
<https://www.kazetoniji-clinic.jp/>

Facebook ページ
<https://www.facebook.com/kazetonijclinic/>